

学校目標	取組の内容		
	具体的な手立て	評価の観点	
一人ひとりの教育ニーズに応える教育活動を行う。	<p>個別教育計画の作成や授業を行う上で、3視点への意識をもって目標をたて、評価が行えるような支援を行う。</p> <p>児童生徒本人・保護者・学校が共通認識を持ち、個別教育計画の作成に努める。</p> <p>保護者や病棟関係者との情報交換などを大切にして、一人ひとりのニーズに応える個別教育計画を立てよう、努める。</p> <p>一人ひとりの学習や観察を通して中心的な課題(ニーズ)を明確にし、児童生徒を取り巻く関係者と、児童生徒や保護者の思いや課題を共有し、教育活動を計画する。</p> <p>児童生徒の実態や課題を関係者と確認し、個別支援教育計画の作成を通して目標を共有する。</p> <p>生徒、保護者、学校で、中心的な課題について共通理解し、個別教育計画の作成に努める</p> <p>個別教育計画の記入の仕方について部門で共通理解を図っていく</p>	<p>「自立活動」「伸びる芽教育」(仮称)「キャリア教育」の3視点を意識して計画の作成、指導、評価を行うことができたか</p> <p>児童生徒本人・保護者の意見や考えを取り入れ、部門内で共通理解をして、「自立活動の側面」「伸びる芽教育」(仮称)「キャリア教育の側面」に沿った個別教育計画になっているか。</p> <p>児童生徒の観察を丁寧に行ったり、病棟関係者からの情報を収集したりして、教育活動を生き生きと展開することができたか。</p> <p>保護者との連携を心がけて、教育ニーズを共有することができたか。</p> <p>「自立活動」「伸びる芽教育」(仮称)「キャリア教育」の3つの側面に沿った個別教育計画になっているか。</p> <p>指導検討会で中心的な課題(ニーズ)が明確にでき、「自立活動」「伸びる芽教育」(仮称)「キャリア教育」の教育活動を組み立て実践できたか。</p> <p>学習アンケートの内容や課題を関係者と共有できたか。</p> <p>個別支援教育計画に、関係者と共有した内容が記述されているか。</p> <p>「自立活動」「伸びる芽教育」(仮称)「キャリア教育」のそれぞれの側面に沿って、個別支援教育計画に具体的に記述されているか。</p> <p>生徒、保護者、学校で課題を共有し、作成できたか。</p> <p>個別教育計画の記入の仕方について、部門で共通理解できたか</p>	
	<p>・支援計画や個別教育計画の作成を人等と共通して中心課題(教育ニーズ)を共有する。</p>	<p>・教育ニーズに応じた学習活動・学習環境を用意する。</p>	<p>部門を越えて児童生徒、教員が目標をもって交流できるような活動を計画・実施する。</p> <p>一人ひとりの児童生徒の課題を明確にするために、確かな実態把握を行う。</p> <p>個別指導や集団指導の中で、中心的な課題(ニーズ)を意識しながら学習や活動の中で支援を行う。</p> <p>児童生徒が意欲的に取り組める学習内容や学習グループの形態を工夫する。</p> <p>学びあえる学習集団を広げるために、本校他部門との交流の場を実現する。</p>
<p>一人ひとりの児童生徒の課題に主体的に取り組む。</p>	<p>・保護者や本人との「話し合い」を教育活動のベースにする。</p>	<p>一人ひとりの児童生徒の現状を保護者や関係者と共有し、見通しをもった支援や情報提供を行う。</p>	<p>個別面談やケース会議で現状の共有や今後に向けて適切な情報提供や見通しを持った話し合いができたか。</p> <p>学校評価アンケートの回収率を高め、より多くの保護者の声を受け取ることができたか。</p>

	<p>・児童生徒自身が、達成感、充実感、自信、自尊心の高まりなどを感じられる支援を行う。</p>	<p>授業評価により得られた課題や良い点を整理し、生徒の指導や授業作りに生かす。</p> <p>児童生徒の個別のねらいをふまえた授業を工夫する。</p> <p>授業評価を行い、授業改善に努める</p>	<p>生徒による授業の評価結果を生徒の指導や授業作りに活かすことができたか。</p> <p>授業研究を行ったか。 生徒による授業評価を行い、生徒自身の授業に対する取り組み姿勢の改善につながったか。</p> <p>生徒の意見を吸い上げ、授業改善に努め、学習効果を高めることができたか。</p>
<p>次のステップへの道筋を拓き、自己選択・自己決定を支える。</p>	<p>・児童生徒自身による自己選択・決定の場面を設定していく。</p>	<p>それぞれの児童生徒に対し、自ら進路を選択できる力を育成する。</p> <p>転出や卒業後に向けて、安心して地域の中で生活していけるよう、情報提供や環境を整える。</p> <p>児童生徒が自分の課題と向き合い、次のステップに向かえる力がつくよう支援する。</p> <p>児童生徒が個々に合った方法で、自分の気持ちを表現できるように支援する。</p> <p>自分の障害と向き合い、よりよい学校生活が送れるように支援する。</p> <p>生徒一人一人が自分の目標（めあて）、課題を意識しながら自分の働く力を高められるような実習を行う。</p>	<p>情報提供や面談を適切に行うことができたか 進路学習や見学会等によって、進路への理解が深まったか。</p> <p>最新の福祉情報を収集し、本人および支援者に適切な情報提供、アドバイスができ、スムーズな移行につなげることができたか。</p> <p>児童生徒が集団の中でも主体的に活動し、自信を身につけにつけ、前籍校に戻ったり、進学したりすることができたか。</p> <p>集団の中でお互いに認め合い、可能な範囲で一緒に行動することができたか。 一人ひとりの児童生徒の表出を丁寧に観察してわずかな表出でも見逃さず、呼びかけや関わりに対して反応できるよう支援できたか</p> <p>転籍校に的確な情報を伝え、転籍した後の環境づくりに役立てられたか。 復学後、フォローアップの相談に適切に対応することができたか</p> <p>生徒にとって自分が成長できた実感できる実習を実施することができたか。 企業開拓を十分行うことができたか。関係機関と具体的な連携を深めることができたか。</p>
<p>地域での学びと暮らしを支える役割を担う。</p>	<p>・保護者や関係機関と協力した移行支援を推進する。</p> <p>・支援教育を推進する。 ・特別支援学校としての専門的なノウハウを共有・蓄積し、広く提供する。</p> <p>・地域の生活・医療・仕事・教育等に関する相談支援体制に寄与する。</p>	<p>本校高等部へのスクーリングや校外学習を通して、自分の今後の進路をイメージできるような指導を行う。</p> <p>新たな障害者福祉制度について理解を深め、より安心して卒業後の生活を送るために方策を模索する。</p> <p>「学校だより」を保護者、関係諸機関、地域の学校等に広く配布し、学校の様子や取組を伝える。</p> <p>教育相談、巡回相談、グループ相談、各種の研修会などを通して、秦野市の支援教育にかかわる連携を強化・深化する。</p> <p>「小児の高次脳機能障害・支援ガイドブック(チェックリスト付)」が広く活用できるように配布、説明する。</p> <p>秦野市在住の幼・小・中・高の病弱児に対しての支援を行う。</p>	<p>社会体験を広げるためのスクーリングや校外学習等、実態に応じた活動が計画実施できたか。 中学部生徒に対して、保護者と将来について話し合う機会を設定し、情報提供を行うことができたか</p> <p>保護者に十分な周知を図ることができたか。 相談支援機関と連携を深め、企業就労者がドロップアウトした場合でもすぐに適切な支援を受けられるような仕組みを作ることができたか。</p> <p>保護者、関係諸機関、地域の学校等に本校の様子や取組を伝えることができたか。 保護者や評議員の方々の意見等を伝える紙面を作ることができたか。 年間を見通し、テーマを持って計画的に発行することができたか。</p> <p>「まなびの教室」担当教諭と協働してグループ相談を運営できたか。</p> <p>「小児の高次脳機能障害・支援ガイドブック(チェックリスト付)」を配布し説明する機会を設けることができたか 「小児の高次脳機能障害・支援ガイドブック(チェックリスト付)」が関係する児童生徒の指導に活かされたかアンケートを取り評価したか。</p> <p>地域の学校の病弱児や支援が必要な幼児・児童生徒に対して、適切な支援を教育相談COや養護教諭と連携することができたか。</p>

保護者・生徒・教員が協力して、安全で安心感のある学校を作る。	・安全で清潔で快適な学習環境を維持していく。	<p>日常生活の安全に関する児童生徒指導体制の充実を図る。</p> <p>児童生徒の健康状態に関する、情報の共有化を図る。</p> <p>ホームページの管理とIT環境の充実を図る。</p> <p>校内の環境整備について、児童生徒が自ら考え実行できるようなエコ活動に取り組む。</p> <p>PTA活動を保護者に周知し、活動に積極的に関わってもらえるようにする。</p>	<p>部門会等を利用し、定期的に情報交換を行うことができたか。 管理職、関係機関との報・連・相、職員との情報共有が速やかに行えたか。 生活安全に関わる研修が実施できたか。</p> <p>情報の共有化が図れたか。 歯磨き週間を設けるなど、児童生徒への働きかけができたか。 けがの予防について、職員への働きかけができたか</p> <p>見やすくわかりやすいホームページにリニューアルし、保護者、関係機関、地域の学校等に本校の様子や取組を伝えることができたか。 定期的にホームページを管理し、常に最新の情報に更新することができたか。 IT機器を活用しやすい環境に整備することができたか。</p> <p>環境問題を身近に感じられるエコ活動ができたか。 児童生徒が主体的に活動に取り組めたか。 環境問題を身近に感じられるエコ活動ができたか。</p> <p>ミニ広報誌などの内容やPTA行事への参加者数を指標とする。</p>
	・事故、災害に対する予防と緊急対応マニュアルの見直しと周知・徹底をしていく	<p>災害に備えた体制を更に整えるとともに、児童生徒へ向けた防災教育の充実を図る。</p> <p>■ハラスメント(いじめ、虐待、体罰等も含む)防止への啓発と相談担当者の活用に取り組む。</p>	<p>児童生徒に向け避難訓練を含めた防災学習の計画をたて、実施することができたか。 職員の防災に関する実用的知識を高めることができたか。 防災用品の整理、点検を定期的に行えたか。</p> <p>いじめ防止対策に関する啓発資料をまとめ、研修会等を設定していじめ発生の予防を図るとともに、適切な対応のあり方に関する知識や技能を身につけることができたか。</p>
	・じっくりと教育活動に取り組めるゆとり感のある校務活動に取り組んで行く。	<p>更なる業務改善を進めて、教育活動の充実を図るとともに、OJT効果につながる校務体制を整備する。</p>	<p>業務の見直しや移管を行って、OJT効果につながる体制づくりができたか。</p>

教育目標・中期的な方針など

(1) 教育目標「めあてをもってやりぬく子」

・病気にまけない ・たのしく学ぶ ・きまりを守る ・気持ちを考え行動する
安全で安心な学校環境の中、意欲を持って楽しく学びながら、健康な体、豊かな心や自立心を育み、社会の中でよりよく生きていく力を培う。

めあてをもってやりぬく子

病気の克服・改善・・・病気に負けない
健康や情緒の安定をはかり、心身ともに健康な児童生徒を育てる
学習意欲の高揚・・・たのしく学ぶ
自ら学ぶ力を育てながら、基礎・基本の習得を図る
情操・感性の育成・・・気持ちを考え行動する
学習活動を通し、生活経験を広げながら、心豊かに生きていく力を育てる
社会性の向上・・・きまりを守る
学校生活を通し、よりよい人間関係を学び、積極的に社会参加できる力を育てる

(2) 中長期的な学校運営の基本方針

児童生徒の気持ちに寄り添いつつ、課題への主体的な取組みを支援する。
多様な教育的ニーズに応える教育課程を創造する。
教育資源を広く地域に求め、学校内の限られた資源を補いながら教育を組立てる。
保護者、神奈川病院、神奈川リハビリテーション病院、弘済学園と連携協力して児童生徒の学びと育ちを支える。
前籍校、相談支援機関、主治医、進路先などとの情報交換を密にして、丁寧な移行支援を行う。
個々の教員の専門性や学校の教育力を高める努力を続ける。
児童生徒が安心感を持って学べるように、明るく清潔でかつ安全な教育環境を整備する。
事故防止等に力を入れ、教育活動に専念できる環境を整える。
地域の支援教育推進に寄与するため、市教委や幼・保・小・中・高等学校などとの協働を深める。
知的障害教育部門小・中学部開設に伴い、開設準備プロジェクトを立ち上げ、児童生徒や保護者の不安を解消し、安心して平塚養護から移行できるよう環境設定と対応に心がける。